

「本山寺山森林づくりの会」活動報告

武田 壽夫(記録、写真) 倉谷邦雄(写真)

日時：2017(平成 29)年 6 月 1 日(木) 9:30~15:30

気象：天候=晴、気温(20 時、天狗杉尾根=20℃)

活動エリア：「4 4 林班ろ」「4 4 林班い」

活動内容：ナラ枯れ対策、登山道保全(水切り溝修復)、苗木生育調査
林床整備

参加者：石原順子、斧田一陽、倉谷邦雄、下沖裕子(体験)、杉本佳彦、武田壽夫、中村賢三、
長谷川由紀子(体験) 計 8 名

<前夜は”ダウンバースト”、さて今日の山の様子は？>

昨晩は寝入りばなに激しい突風に稲光、雨音、これには驚かされた。それが一夜明けるとカラッとした晴天、絶好の活動日和ナリ。山の荒れ具合が心配だったが、地表の水流跡に落ち葉が沢山重なっていた程度で、新たに落ちた枯枝は少なかった。今日は療養中の秦さんのご家族お二人(下沖さん、長谷川さん)も体験参加。大歓迎である。

<今日の活動>

今日の作業は①前回着手した「4 4 林班い」の林床整備区域を広げること、②往路の途中、水切り溝の掘り直しと自然歩道沿いのナラ枯れ対策や植樹の経過観察を行うこと、の二つ。ナラ枯れ対策に必要な巻き替え用古タオルは本山寺境内のお手水の溢水で予め湿らせておく。

「ナラ枯れ対策」は、カシノナガキクイムシ(かじが)の侵入・飛散防止のためにタオルを巻いた木々が活着しているかどうか、樹上を見上げて繁り具合をチェック。これは隣接する木々の枝葉が交錯し、加えて逆光で見えづらい。それでも大部分が一応健康のようで、葉が見られない 2 本のタオル巻を更新、新たに発見した 1 本には(丸がなくなったので)ラップを巻きつけておいた。

植樹の方は、歩道脇の「ヤマザクラ」が抜き去られていたほか、枯れたものも若干。元々全部がうまく育つ訳はない。日照等々、場所は選んだつもりだが、自然の摂理とはこういうもの。幼木に声をかけてやりたくなる。頂上尾根で丁度昼食時。

午後は西尾根を少し下った山腹で林床整備の範囲を広げる。ここは「4 4 林班い」の最北部に近い緩傾斜地。倒し放しの広葉樹やスギ、ヒノキが散乱している。細断・棚積みを進めるが、イザ取り掛かると中々片付かないのは何時も通り。広葉樹は張った枝の始末が厄介だし、太い針葉樹は玉切り・運搬に力と手間がかかる。奮闘 2.5 時間、何とか「片付けた」つもり。「4 4 林班い」の前回整備済みのエリアも仕上げを行う。

<今日も山も気持ちも”スッキリ”>

今日の秦さんご家族の参加は何よりのこと、頑張り過ぎてあとで「バタンキュー」でなければ良いが……。是非、またのご参加を。

「森林づくり」は今年で 5 年目、尾根の視界は広々と感じられる。と言うことで、集合写真は尾根で撮ってみた。以前の写真と見比べて下さい。

今日は野鳥の声が賑やか。鶯以外聞き分けられないのが残念で、一度「鳥博士」の教えを請いたいもの。どなたか、お知り合いはいませんか？。エゴノキ、サクランボと季節の花々も楽しんで貰えます。

(本文 以上)



本山寺山山頂での集合写真(活動終了後)



3年前の山頂付近—HP23号(2014.5.11)



幼木の育ち具合は？



カシカ 対策木のチェック



タオルを巻き直す



水切り溝の補修



林床整備—広葉樹の整理



作業開始時—玉切り木は手前に重ねることに



活動後—中景左と前景は処理済み木の棚積み



エゴノキの花



サクランボ